

死刑について考えてみませんか？

知らなくっていいの……？

ママ、人を死刑にするってどんなふうにするの？

そんなこと子どもは知らなくっていいの！

ママも知らないんじゃないの？

知ってるわよ。ええっと、外国じゃあ電気イスとか、薬を注射したりするのもあるけど、日本の死刑は絞首刑よ。

それって苦しいのかなあ。

そんなこと子どもは知らなくっていいの！

ママも知らないんじゃないの？

おとなも知らなくっていいの！

街を行くみなさん、この近くに東京拘置所があります。東京拘置所には、多くの裁判中の人のほかに、死刑の決まった人たちが収容されています。東京拘置所内の処刑場で、毎年、数人の死刑が執行されています。

しかし、法務省は誰を死刑にしたのかも明らかにしていません。執行のあった事実だけを報道機関に伝えるのみです。それから新聞社や放送局などのマスコミが大あわてで関係者に取材して、どうやら〇〇事件の〇〇さんの死刑が執行されたいとわかるわけです。死刑囚の家族のもとへは執行後に「遺体や遺品の引き取りをどうしますか」という連絡が入るだけです。事件の被害者遺族には一切知らされることはありません。

いわゆる「先進国」、サミットに参加しているような国で死刑が行なわれているのは日本とアメリカ（それも州によってことなります）だけですが、アメリカでは、前もって死刑執行の予定が明らかにされるために、その死刑に賛成する人、反対する人が、いつも、大きな議論をくり広げています。

日本では死刑に関する情報はひたすら隠されています。それは、政府・法務省だけの問題ではありません。

イタリアに本社のある衣料品メーカーの「ベネトン」はセンセーショナルな広告をだすことで有名ですが、昨年、ベネTONは死刑制度を問題にするという立場から、アメリカの死刑囚の写真やその声を掲載したキャンペーンを世界的に展開し、大きな波紋をよびました。「毎日の通学の途上でベネTONの広告を見て死刑の問題を意識しました」というアメリカに留学中の学生さんからの声も届いています。

しかし、日本のマスコミはすべて、この「広告」でさえも掲載・放映することを拒否しました。こと死刑の実態については法務省もマスコミも、「日本国民は知らなくっていいの！」と言っているかのようです。

このそばで高層ビルに改築中の東京拘置所にどんな処刑場が設けられようとしているのかも誰も知りません。ほんとうに知らなくっていいのでしょうか？